

目で見る郷土資料の編集発行事業

～地元の歴史と魅力の再発見:古写真・記録映像などの編集発行～



津島市立図書館（愛知県津島市） <http://www.lib.tsushima.aichi.jp/toshokan/>

基本データ（数値はH25年現在）

住所	津島市老松町1-1
電話番号	0567-25-2145
人口（図書館が所在する市町村）	6.5万人
職員数（うち有資格者数）	16人（11人）
蔵書数	276,730冊
登録者数	43,523人
年間貸出冊数（H24）	462,269冊

目的・趣旨

古写真や記録映像などの視覚資料は馴染みやすい郷土資料である。同時に、観光ガイドや街並み保存、歴史研究などにも有用である。図書館ではこれらの資料を収集から編集発行まで手掛けることで、誰もが利用できるよう情報発信している。

取組概要

平成23年度より、当館では収集した資料を整理し、「目で見る郷土資料」の編集発行事業を開始。

記録映像…16フィルムのデジタル化と、ナレーション付け。
古写真…膨大な古写真を分類し、解説を付して写真集を作成。

25年度までの発行物は5点。
DVD「戦時下の津島と片岡毛織」
DVD「昭和初期の津島と飯田毛織」
写真集『歴史写真集津島』第1輯
写真集『歴史写真集津島』第2輯
写真集『歴史写真集津島』第3輯



郷土資料の発行

特徴

この事業の特徴は、郷土資料の発刊を目的にしながらも、多くの市民や関係機関・各種団体と連携して制作することで、図書館を中心に高度で有用な成果を生み出すことにある。

<事業の特徴と目的>

- 事業は映像や写真などの視覚資料を優先
→市民にとって関心が高く受け入れ易い
- 郷土資料（視覚資料）の整理と基礎的検討
→郷土資料の充実と図書館の学術・研究拠点化
- 地域との連携による郷土資料の発行
→市民を巻き込んだ郷土の歴史・文化への取り組み
- 発行物を利用した上映会・講演会・展示会
→市民の学習要望等に関与できる仕組みの構築
- 映像資料はホームページから視聴可能（You Tube）
- 写真資料もホームページで順次公開予定



朝日新聞の掲載記事

取組の成果と今後について

この取組では図書館が多くの市民や関係機関と協働して郷土資料を5点を発行した。これらの資料は需要が高く、地元の歴史や魅力の再発見につながるイベントでも不可欠な資料となっている。今後もこうした事業を拡大継続する一方、得られた学術的成果を広く活用することで、まちづくり計画等にも寄与したい。